



学校だより

雨の日の学び

今年は例年になく南九州の梅雨入りが早くなりましたが、北部九州は、昨日梅雨入りしました。昨今の自然災害などのニュースを見ると、雨の日はどうしてもネガティブになりがちですが、いつもと違う雨の日の登下校や過ごし方から子供たちが学べることはたくさんあると思います。例えば次のようなものです。

- 両手でカサを持てるようにする
- 風向きに合わせてカサをさす
- 視界が悪くなる分、耳で音をよく聞く
- カサがぶつからない様にいつもより間をあけて歩く
- 雨が強い日は長靴やレインコートで登校する
- 風が強い日は、帽子をランドセルに入れて行く
- 雨の日は、替えの靴下やタオルと濡れた物を入れるビニール袋を持っていく
- 川の水が増えていたら、川や用水路から離れて歩く
- 雷鳴が聞こえたら、近くの建物に逃げる



これらは、「生活の知恵」というものになると思いますが、子供たちが実際に雨の中を歩くことで気がついたり、身につけたりしていく大切な「学び」だと思います。

学校でも雨の日の登下校については、しっかりと指導しますが、住んでいる地区の様子によって、気を付けるべきことが若干異なってきます。次の日の天気を家庭の話題にして、雨の日に気をつけることをお家の方と一緒に考え、各家庭で「生活の知恵」を授け



てもらえると、子供たちのこれからの健やかな成長につながっていくと思います。

しかしながら、強い風雨、雷等により子供たちの安全が心配される場合は、安全を最優先し自宅で待機して構いません。学校に「遅れます」という連絡を頂ければ助かります。このような場合は、これまで通り遅刻扱いにはなりません(登校班の中で連絡を取り合っていたとより安心できます)。

プールでの学習が始まります

6月になり、どの学年もプールでの「水遊び」や「水泳」の学習が始まりました。水泳指導には、浮いたり潜ったり泳いだりする楽しさを体験し

たりするほか、体力や健康を維持することや水の事故から自分を守る知識や技能を身につけることなど様々な目的があります。天候や風の強さによっては、まだ肌寒いと感じる日もありますが、学校では子供たちの様子を見ながら入水の時間を調整しつつ学習を進めているところです。いくつかの学年やクラスの授業の様子を見ましたが、バディ(ペア)をついたり、泳力別にコースを分けたりしながら、一人一人の経験や泳力の違いに対応した指導ができるようにするなど授業の工夫がされています。

今シーズンもみんなで楽しくプールでの学習が続けられるように「安全」と「清潔」に気をつけながらプールを使っていきます。プールでの学習がある日は、しっかりと家庭で朝の健康チェックをしてください。また、その日は十分な休養や睡眠がとれるようにご協力をお願いします。



教育実習

紹介が遅くなってしまいましたが、先月から福岡子ども短期大学のNさん(上峰小の卒業生)が養護教諭になるための教育実習にきています。保健室で子供たちへの対応や各種健康診断の運営などを経験しながら、2年2組で歯みがきについての授業にも挑戦しました。実習は今日(9日)までです。

